

## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月7日

上場会社名 株式会社 ニッピ  
コード番号 7932 URL <https://www.nippi-inc.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 裕子  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 善之  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3888-5117

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	36,853	8.9	2,450	128.9	2,486	106.2	1,788	123.1
2023年3月期第3四半期	33,850	15.7	1,070	23.9	1,205	13.1	801	8.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,262百万円 (109.2%) 2023年3月期第3四半期 1,081百万円 (23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	621.77	
2023年3月期第3四半期	278.67	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	70,968	37,106	51.4
2023年3月期	69,564	35,077	49.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 36,446百万円 2023年3月期 34,462百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		80.00	80.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当予想については、2023年11月8日に公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、配当性向23%から25%を目安に2024年3月期決算確定時に判断し、1株当たりの期末配当金が決定次第、速やかにお知らせいたします。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	9.3	3,000	103.8	3,000	93.1	2,000	70.9	695.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	2,889,000 株	2023年3月期	2,889,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	13,098 株	2023年3月期	12,976 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	2,875,954 株	2023年3月期3Q	2,876,055 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍明け後の景気回復が持続しております。賃金、雇用情勢の改善、インバウンド需要も円安が追い風となり、また、金利の急激な上昇で懸念されていた米国を中心とした海外経済も強弱はあるものの堅調な動きを見せております。一方で、物価上昇圧力の長期化で実質所得の低下が消費マインドを抑制する懸念もあるほか、人手不足が深刻化しつつあり、サプライチェーンの制約懸念も不安要素とされております。

このような経営環境のもと、引き続き生産性の向上、製造費、販売費、管理費の削減、高付加価値商品の開発などに取組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間は、春と秋に新製品などのキャンペーン、広告宣伝を実施したことで化粧品関連事業は減益となったものの、原材料費、動力費、運賃、輸入為替などのコスト上昇分の一部を価格に転嫁出来たことにより全体の売上高、営業利益率は改善され、増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、36,853百万円(前年同四半期比8.9%増)となり、営業利益は、2,450百万円(同128.9%増)、経常利益は、2,486百万円(同106.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,788百万円(同123.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① コラーゲン・ケーシング事業

国内販売は、フランクサイズや着色素材が順調に推移しました。一方で、輸出販売は、東南アジア向けが好調に推移したものの、北米向けがユーザーの在庫調整や競争の激化により苦戦した結果、全体では減収となりました。また、営業利益は、電力、動力費などに対する政府の補助などがあり、さらに生産が順調であったこと、また、輸出運賃が大きく減少したことなどによりコストダウンとなり、増益となりました。

この結果、売上高は、7,055百万円(前年同四半期比4.6%減)、営業利益は、669百万円(同90.9%増)となりました。

#### ② ゼラチン関連事業

ゼラチン販売は、カプセル、食品向けを中心に好調に推移しました。ペプタイド販売は、輸出向けが価格競争による影響で減少したものの、国内向けではインバウンド需要の回復に伴い、健康食品用途を中心に好調に推移したことにより増収となりました。ただし、価格改定により利益率が改善したものの、原材料費の高止まりや輸入為替の影響もあり、予断を許さない状況は継続しております。

この結果、売上高は、10,677百万円(同20.0%増)、営業利益は、1,227百万円(同176.7%増)となりました。

#### ③ 化粧品関連事業

化粧品の販売は、外出機会が増えたことにより、需要が回復傾向となって増収となりました。また、健康食品の販売は、引き続き健康志向を背景に「ニッピコラーゲン100」の販売が順調に推移しました。通販市場においては、コロナ特需も落ち着き伸び率が鈍化してきており、新規顧客を獲得するための広告宣伝費を集中投下したことにより減益となりました。

この結果、売上高は、5,713百万円(同17.2%増)、営業利益は、582百万円(同5.5%減)となりました。

#### ④ 皮革関連事業

靴用革の販売は、紳士用、婦人用ともに行動制限の緩和に伴い、需要が回復傾向となったものの、ハンドル用革の販売は、中国経済の減速の影響などもあり苦戦しました。営業利益は、生産工程や処方の変更によりコストを削減し、また、原材料費の価格上昇分を販売価格へ一部転嫁できたことにより利益率は改善し、増益となりました。

この結果、売上高は、5,673百万円(同2.9%増)、営業利益は、258百万円(同648.2%増)となりました。

#### ⑤ 賃貸・不動産事業

東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場用地として有効活用を図っております。また、大阪府大阪市の土地賃貸事業は、中央区心斎橋における商業施設用地ならびに浪速区なんばにおける「なんばパークスサウス」(タイの高級ホテル、ライフスタイル型ホテル及びオフィスビル用地)として有効活用を図っております。

この結果、売上高は、795百万円(同25.6%増)、営業利益は、635百万円(同32.7%増)となりました。

#### ⑥ 食品その他事業

有機穀物は、相場の上昇や円安の影響により苦戦したものの、外食産業向けのイタリア輸入食材は、行動制限の緩和により需要の回復が進み、また、バイオ関連製品の販売は、国内外医薬品会社や民間研究機関を中心に順調に推移しました。

この結果、売上高は、6,937百万円(同6.1%増)、営業利益は、307百万円(同0.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、70,968百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,404百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が629百万円減少しましたが、現金及び預金が241百万円、受取手形及び売掛金が1,052百万円、原材料及び貯蔵品が374百万円、投資有価証券が435百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、33,861百万円となり、前連結会計年度末と比べ624百万円減少しました。これは主に、その他流動負債が526百万円増加しましたが、賞与引当金が229百万円、短期借入金が394百万円、長期借入金が500百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、37,106百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,029百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が1,506百万円、その他有価証券評価差額金が290百万円、為替換算調整勘定が151百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月8日に公表いたしました数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,012	7,253
受取手形及び売掛金	8,603	9,656
商品及び製品	7,966	8,137
仕掛品	681	633
原材料及び貯蔵品	1,679	2,053
未収還付法人税等	-	12
未収消費税等	352	303
その他	528	416
貸倒引当金	△57	△41
流動資産合計	26,766	28,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,687	7,353
機械装置及び運搬具(純額)	812	1,304
土地	28,522	28,522
リース資産(純額)	63	94
建設仮勘定	1,328	463
その他(純額)	157	204
有形固定資産合計	38,572	37,943
無形固定資産		
リース資産	38	17
その他	203	214
無形固定資産合計	241	231
投資その他の資産		
投資有価証券	3,449	3,885
長期貸付金	11	7
繰延税金資産	92	86
破産更生債権等	3	3
その他	472	437
貸倒引当金	△47	△50
投資その他の資産合計	3,980	4,368
固定資産合計	42,795	42,542
繰延資産	2	1
資産合計	69,564	70,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,090	7,937
短期借入金	6,337	5,943
1年内償還予定の社債	100	100
リース債務	46	46
未払法人税等	414	513
未払消費税等	41	52
賞与引当金	475	245
役員賞与引当金	44	17
その他	1,884	2,410
流動負債合計	17,434	17,267
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	8,312	7,812
長期未払金	327	202
リース債務	60	74
繰延税金負債	1,529	1,614
再評価に係る繰延税金負債	3,644	3,644
役員退職慰労引当金	626	528
退職給付に係る負債	2,166	2,202
資産除去債務	6	6
その他	277	409
固定負債合計	17,052	16,594
負債合計	34,486	33,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,404	4,404
資本剰余金	1,930	1,930
利益剰余金	19,374	20,881
自己株式	△38	△39
株主資本合計	25,670	27,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	622	912
繰延ヘッジ損益	11	9
土地再評価差額金	7,806	7,858
為替換算調整勘定	436	587
退職給付に係る調整累計額	△84	△99
その他の包括利益累計額合計	8,791	9,269
非支配株主持分	614	660
純資産合計	35,077	37,106
負債純資産合計	69,564	70,968

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	33,850	36,853
売上原価	26,053	27,439
売上総利益	7,797	9,414
販売費及び一般管理費	6,726	6,963
営業利益	1,070	2,450
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	83	100
為替差益	122	19
持分法による投資利益	14	14
その他	45	35
営業外収益合計	267	172
営業外費用		
支払利息	99	96
手形売却損	18	21
その他	14	18
営業外費用合計	132	136
経常利益	1,205	2,486
特別利益		
固定資産売却益	-	2
投資有価証券売却益	5	-
会員権売却益	0	-
国庫補助金	4	-
受取補償金	-	33
特別利益合計	10	36
特別損失		
固定資産除却損	0	42
固定資産圧縮損	4	-
出資金売却損	5	-
特別損失合計	10	42
税金等調整前四半期純利益	1,205	2,480
法人税、住民税及び事業税	305	676
法人税等調整額	59	△30
法人税等合計	364	645
四半期純利益	841	1,834
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	801	1,788



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	841	1,834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	291
繰延ヘッジ損益	△89	△1
為替換算調整勘定	215	151
退職給付に係る調整額	16	△14
その他の包括利益合計	239	427
四半期包括利益	1,081	2,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,060	2,214
非支配株主に係る四半期包括利益	20	48

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。